

こなおんせん

ながおかおんせん

げんじやま

# 温泉景観エリア(古奈温泉、長岡温泉、源氏山)

## 癒しめぐる 人をつなぐ新しい温泉場 ～心と体が癒される伊豆長岡温泉～



温泉場出逢い通りの朝市と夜市



源氏山山頂の桜と七福神めぐり



あやめ小路の石畳と古奈もみじ公園

所在地	伊豆の国市古奈地内、長岡地内
面積	伊豆の国市全域 94.62km <sup>2</sup> のうち約7.80km <sup>2</sup>
主な施設等	伊豆の国市観光協会、長岡総合会館アクシスかつらぎ、古奈温泉、長岡温泉、源氏山公園、古奈もみじ公園、古奈湯元公園、湯らくす公園、伊豆長岡見番、伊豆箱根バス温泉駅、順天堂大学医学部附属静岡病院 等
アクセス	【鉄道】新幹線（東京駅～三島駅）約60分、伊豆箱根鉄道駿豆線（三島駅～伊豆長岡駅）約24分 古奈温泉：伊豆長岡駅からバス約5分 長岡温泉：伊豆長岡駅からバス約8分 【自動車】東名高速道路（東京～沼津IC・長泉沼津IC）約90分、沼津ICから東駿河湾環状道路で約25分

### 地形

東西を山に挟まれ、南北に流れる狩野川に沿って街区が発達し、独特の景観が形成されてきた。周りを低い山に囲まれた盆地のような趣きのある景観であるとともに、これまでの人の営みによって守られ、育まれてきた人々に安らぎを与える地形である。

### 歴史

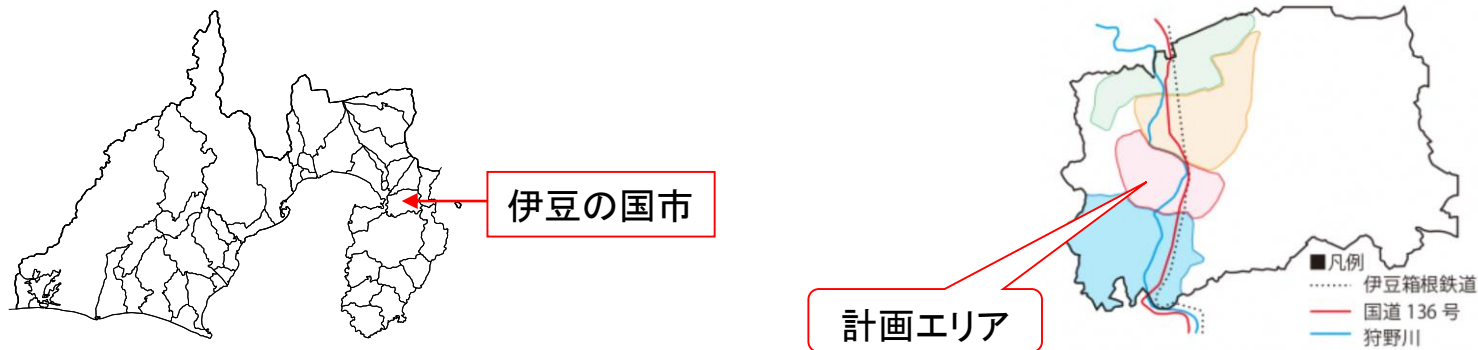
伊豆長岡温泉とは、源氏山を挟む古奈温泉と長岡温泉の2つの温泉場の総称である。古奈温泉は、源氏山の東麓に位置し『吾妻鏡』に記述がある鎌倉時代から湯治場として栄えた歴史ある温泉である。長岡温泉は明治40年源氏山の南麓において湧出し、明治43年に初めて温泉旅館が建てられてから次第に発展し、温泉場を形成してきた。大正・昭和期には、三菱財閥の岩崎家をはじめ、政財界の人や、与謝野晶子、若山牧水などの数多くの文人歌人が好んで滞在した。

古くから伊豆地方有数の温泉地として栄えてきたこの地は、現在も多くの旅館・ホテルがあり、大勢の観光客で賑わっていた昭和30年代頃の雰囲気を残している場所もある。高度経済成長期からバブル期にかけてのレジャーブーム時は、首都圏からのアクセスの良さと泉質の良さから多くの団体旅行などで賑わい、旅館・ホテルの大規模施設化が進んだが、バブル崩壊後は旅館の廃業や経営譲渡等により、施設数が減少した。現在は、古奈温泉20軒、長岡温泉22軒の宿泊施設が営業している。

### 観光

温泉場の近くにある源氏山山頂には、各登り口から徒歩で約20分で行くことができ、春は桜、秋は紅葉を楽しむことができる。エリア内の公園には足湯や健康遊歩道も整備されており、今後、医療機関等と連携し、温泉を活用した新しい観光につながる取組みが期待される。観光イベントでは、毎年7月に、80年以上の歴史をもつ源氏あやめ祭が開催され、近年では「源氏山七福神巡り」や「芸妓まつり」「まゆ玉の里」など、地域の文化・伝統芸能に関連するイベントが活発に行われている。

## 2. 対象エリアの位置図



(出典：地理院地図)



## 伊豆長岡温泉の拠点となる2つの温泉場と通り

## (1)古奈温泉 あやめ小路周辺



あやめ小路



古奈源泉孔跡



湯谷神社



石切場跡

## 伊豆の三古湯の一つである歴史深い温泉

古奈温泉は、奈良時代に開湯し1300年の歴史があるといわれ、古奈温泉の湯谷神社の横には、温泉発祥の温泉孔跡が残っている。温泉場には、源頼朝が入ったといわれる温泉も残り、歴史・文化を感じる場所である。昭和まで伊豆石の採掘を行っていた石切場の跡も残っており、ジオパークとしての価値も高い。

古奈温泉の中でも、あやめ小路は、古き良き昭和の面影を残す閑静な温泉場の雰囲気を出している。古奈温泉には、古奈別荘、三養荘等の政財界人の別荘から派生した歴史的な建造物が旅館として現在も使用されている。

## (2)長岡温泉 温泉場出逢い通り



温泉場出逢い通り



南山荘中庭



伊豆長岡見番 芸者稽古



湯汲道中

## 大正・昭和期を通じて発展してきた温泉旅館群

かつて国内では、京都祇園、伊豆長岡温泉の2箇所のみ置かれた公認静岡県芸妓学校は長岡温泉場にあり、昭和60年代まで運営されていた。現在は、伊豆長岡芸能事業協同組合の稽古場として使用されている。

温泉場出逢い通りでは、長岡温泉場からまちの活性化を目指す市民グループが温泉場お散歩市や花によるおもてなしの取組みを実施し、地域の賑わいや出会いの場として開かれ、多くの市民や観光客で賑わっている。

毎年3月末には、温泉神社の例祭が行われ、旅館関係者や芸者衆により湯汲み式が開催されている。

## 〈景観形成の主な課題〉

- ・廃業・休止中の旅館や商店等が点在し、温泉場全体が暗く寂れた印象を与える。
- ・旅館跡が住宅地に転用され、温泉場としての景観が失われつつある。
- ・電柱や電線により温泉場の景観が阻害されている。

## 2つの温泉場をつなぐ周遊路と拠点

## (1)古奈もみじ公園



## もみじの大木に囲まれた公園

もみじの巨木があることから古奈もみじ公園と名付けられた宿泊客や地域住民の憩いの公園である。あやめ御前の供養塔があり、源氏あやめ祭の供養祭が行われるなど、地域の歴史・伝統文化を残していくための重要な場所である。この公園から、遊歩道を登って、源氏山山頂に行くことができ、あやめ小路等を含めた古奈地区への周遊も期待できる。

## (2)源氏山



## 2つの温泉場をつなぐシンボルの山

古奈温泉と長岡温泉との間に位置し、両方の温泉場から、遊歩道を通して山頂にアクセスできる。源氏山山頂は、春には満開の桜に囲まれる場所で、山頂周辺及び散策ルートを整備することにより、景観の良好な視点場を確保するとともに、古奈温泉と長岡温泉という2つの温泉場をつなぐことができる。源氏山七福神巡りは、周辺散策に活用されている。

また、源氏山山頂は、本来、360度を見渡すことができる視点場であるが、山頂周辺に繁茂した樹木等により、眺望景観が阻害されている。

## (3)伊豆箱根バス 温泉駅



## 長岡温泉の玄関口

かつては伊豆全域への定期観光バスの発着所であった。現在でも、伊豆箱根バスのバスターミナルとして使用されている温泉場の玄関口である。近年、アニメ作品の舞台としても注目を集め、今後、民間と地域等の連携により、人が集う拠点となる仕掛けや温泉場との連携活用が期待できる。

## 〈景観形成の主な課題〉

- ・源氏山山頂の眺望点の整備。周辺の樹木や竹等が繁茂し眺望景観を阻害している。
- ・古奈もみじ公園から源氏山山頂までのルート（散策路）の整備、桜・竹等の維持管理が求められる。
- ・源氏山周辺の案内誘導サイン等のコントロール、整備が必要である。

## (1) 地域住民等の視点 <sup>\*1</sup>

- 温泉場の街並み、雰囲気が出るような温泉場通りとしたい。夜歩きが楽しめる温泉場にしたい。歩行者が安全に楽しく歩ける環境整備が必要。源氏山や古奈もみじ公園を活用し、温泉場の街歩き・周遊につなげたい。
- 廃業、休止中の空き旅館、商店が残り温泉場が寂れた印象になっている。これらを活用し、人の賑わう温泉場の活性化につなげて、景観としたい。
- 古奈温泉と長岡温泉という2つの温泉場の成り立ち、趣きの特徴を活かし、中央に立地する源氏山の活用により両温泉場をつなぎ、伊豆長岡温泉周辺エリアを一体的に楽しめるようにしたい。源氏山山頂からの眺望景観や登頂ルートの整備、七福神巡り等のストーリー性をもたせ、観光客が源氏山を楽しめる仕掛けがほしい。
- 伊豆長岡温泉をPRするシンボルや街並みの統一感を持たせ、伊豆長岡温泉という地名・名称を後世に残していきたい。

\*1 地域の住民、事業者、関連団体等が参画する地域景観ミーティングを3回実施し、出された意見等の集約

## (2) 有識者の視点

- 伊豆長岡温泉の歴史・文化や人の営みが温泉場の景観を形成している。また、文化人が伊豆長岡温泉を愛したという歴史を振り返り、掘り下げて、他の温泉場との違いを特色として考えていくとよい。
- 歴史的建造物（南山荘、伊豆長岡見番、古奈別荘、三養荘等）や伝統行事・芸者文化等の無形文化財が地域に残る。価値あるものとして地域住民が誇りに感じ、伊豆長岡温泉の歴史・文化的景観を次代に継承していくことが重要である。
- 温泉場滞在の楽しみは、飲食に加え、湯けむりのあがる情緒的な温泉場ならではの景観形成が望ましい。
- 源氏山周遊整備は、古奈温泉、長岡温泉の2つの温泉場の異なる魅力を引き出すことになり、観光・宿泊における新たな魅力になり得る可能性がある。特に、源氏山山頂の整備により、温泉場はもとより富士山、田方平野が一望できる眺望地点になる。
- 案内誘導看板等は、色・形状を統一化し、視認性の高い景観に配慮したものにしていく。街路景観整備（道路舗装、照明灯、ストリートファニチャー等）については、温泉場の雰囲気を醸し出すデザインや色彩にするとよい。
- 今後予定されている県道の道路整備は、地域景観を形成する景観整備を心がけてほしい。

### 目標 1

温泉文化の新たな価値創造による  
温泉場の魅力づくり



### 景観づくり方針

- ①温泉場に賑わいをつくり、再び訪れたくなる温泉場の景観をつくる
- ②温泉場の歴史・文化を守りながら、新たな伊豆長岡温泉の魅力をつくる

### 目標 2

古奈温泉、長岡温泉をつなぐ  
源氏山の環境整備



### 景観づくり方針

- ①源氏山山頂の眺望点を整備する
- ②古奈温泉、長岡温泉をつなぐ周辺環境を整備する

対象エリア全体につながる景観づくりの取組み



## 目標1 温泉文化の新たな価値創造による温泉場の魅力づくり

### 方針1-① 温泉場に賑わいをつくり、再び訪れたくなる温泉場の景観をつくる

	取組み	実施主体
短期	①景観を楽しみながら安全に歩ける温泉場通りの環境整備 (例 温泉場の景観を意識した街路照明、道路交通環境 等) ②観光情報や誘導案内サイン等の集約・整理 【建物や工作物等の配置、形状】	●市、地域、事業者、関係団体等
中・長期	③空き店舗等の把握と官・民・地域の連携による活用 ④伊豆箱根バスの温泉駅と古奈温泉、長岡温泉間の人の流れを意識した温泉駅周辺の空間づくり	●市、地域、事業者、関係団体等

### 方針1-② 温泉場の歴史・文化を守りながら、新たな伊豆長岡温泉の魅力をつくる

	取組み	実施主体
短期	⑤伊豆長岡温泉の歴史・文化等の積極的発信 ⑥温泉と食、健康、医療等と連携した新たな伊豆長岡温泉の魅力づくり	●市、地域、事業者、関係団体等
中・長期	⑦温泉場及び周辺にある歴史的価値のある建物を保存し、温泉場の魅力づくりに向けて活用 (例 南山荘、伊豆長岡見番、古奈別荘、三養荘等) ⑧長岡温泉の中心部 (温泉場出逢い通り) の美装化 ⑨古奈温泉とのつながりや景観の調和を意識した古奈もみじ公園周辺の植栽	●市、地域、事業者、関係団体等

## 目標2 古奈温泉、長岡温泉をつなぐ源氏山の環境整備

### 方針2-① 源氏山山頂の眺望点を整備する

	取組み	実施主体
短期	⑩源氏山山頂（展望台）からの眺望確保 （植栽、樹木の伐採等による修景） 【植栽、樹木の修景伐採】	●市、地域、事業者、関係団体等
中・長期	⑪源氏山山頂への誘引につなげる視点場整備	●市、地域、事業者、関係団体等

### 方針2-② 古奈温泉、長岡温泉をつなぐ周辺環境を整備する

	取組み	実施主体
短期	⑫古奈温泉、長岡温泉を結ぶ散策ルート of 整備 （遊歩道整備、景観を楽しめる桜や紅葉等の植樹、植栽の維持管理） ⑬古奈温泉、長岡温泉に向かうルート上には、温泉場への誘導につながる 街路照明を整備 【建物や工作物等の配置、形状】	●市、地域、事業者、関係団体等
中・長期	⑭源氏山七福神巡り等の取組みと連携した周遊の仕掛け ⑮景観や温泉場への誘導を意識した道路周辺環境整備 ⑯温泉場通りの景観阻害要因の除去・改善	●市、地域、事業者、関係団体等

7. 景観施策(案)のイメージ図

